

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IACS 小委員会の設置について

分科会等名 : IUGG 分科会 IACS 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員 会に○印を付け る。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際雪氷圏科学協会 (International Association of Cryosphere Science; IACS)は、2007年に設立された組織で、国際測地学及び地球物理学連合 (International Union of Geodesy and Geophysics ; IUGG) を構成する8番目の学協会で、歴史的には IAHS 中の ICSI が独立した組織である。国際協力を通して雪氷圏科学の発展を促進することを使命としており、本小委員会は IACS の我が国への対応組織である。当該分野に関して、日本学術会議の理念に沿った国際対応を具体化するのが、本小委員会設置の目的である。
4	審議事項	IACS と連携した国内外の雪氷圏科学、測地学の振興、普及と社会貢献に関する事項他に関わる審議
5	設置期間	平成29年12月26日～平成32年9月30日
6	備考	

第24期分野別委員会小委員会の委員の決定

<様式>

(地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IACS 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
中村 卓司	国立極地研究所・所長	連携会員
東 久美子	国立極地研究所・教授	連携会員
青木 輝夫	岡山大学大学院自然科学研究科・教授	
榎本 浩之	国立極地研究所・教授	
大畑 哲夫	国立極地研究所・特任教授	
鈴木 啓助	信州大学理学部・教授	
杉浦幸之助	富山大学極東地域研究センター・准教授	
杉山 慎	北海道大学低温科学研究所・教授	
竹内 望	千葉大学大学院理学研究院・教授	
西村 浩一	名古屋大学大学院環境学研究科・教授	

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAG 小委員会の設置について

分科会等名 : IUGG 分科会 IAG 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際測地学協会 (International Association of Geodesy: IAG) は、国際測地学及び地球物理学連合 (International Union of Geodesy and Geophysics; IUGG) の傘下の組織で、国際協力を通して測地学の発展を促進することを使命としている。当小委員会は IAG への我が国の対応組織として、国内の関連学会・研究者が IAG の活動を通して世界の測地学の振興と人類社会への貢献に寄与するのが設置目的である。
4	審議事項	1. IAG に関する国際連携 2. 測地学の振興・普及および社会貢献に係る諸事項の審議に関すること
5	設置期間	平成 29 年 12 月 26 日～平成 32 年 9 月 30 日
6	備考	

第24期分野別委員会分科会・小委員会委員の決定

<様式>

(地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAG 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
古屋 正人	北海道大学大学院理学研究院・教授	連携会員
石川 直史	海上保安庁海洋情報部国際課・地震調査官	
市川 隆一	情報通信研究機構電磁波計測研究所・研究マネージャー	
大坪 俊通	一橋大学大学院社会学研究科・教授	
田中 愛幸	東京大学地震研究所・准教授	
土井 浩一郎	国立極地研究所研究教育系地圏研究グループ・准教授	
西村 卓也	京都大学防災研究所・准教授	
橋本 学	京都大学防災研究所・教授	
松本 晃治	国立天文台 RISE 月惑星探査検討室・准教授	
若杉 貴浩	国土地理院測地部宇宙測地課・課長補佐	

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAGA 小委員会の設置について

分科会等名：地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAGA 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員 会に○印を付け る。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際科学会議 (ICSU) の加盟組織である国際測地学及び地球物理学連合 (International Union of Geodesy and Geophysics ; IUGG) の傘下にある、国際地球電磁気・超高層物理学協会 (International Association of Geomagnetism and Aeronomy; IAGA) は、国際協力を通して地球電磁気学・超高層大気物理学の発展を促進することを使命としている。本協会に関し、日本を代表する国内委員会の役割を担い、国内の関連学会・研究者が IAGA の活動を通して世界の地球電磁気学・超高層大気物理学の振興を計ることを支援することが、本小委員会設置の目的である。
4	審議事項	IAGA と連携した国際/国内の地球電磁気学・超高層大気物理学の振興等及び国際対応に関する事項
5	設置期間	29年12月26日～32年9月30日
6	備考	

第24期分野別委員会小委員会の委員の決定

<様式>

(地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAGA 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
中村 卓司	情報・システム研究機構 国立極地研究所所長	連携会員
中村 正人	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所教授	連携会員
塩川 和夫	名古屋大学宇宙地球環境研究所教授・副所長	
清水 久芳	東京大学地震研究所准教授	
藤 浩明	京都大学大学院理学研究科准教授	
能勢 正仁	京都大学大学院理学研究科助教	
山崎 俊嗣	東京大学大気海洋研究所教授	
山本 衛	京都大学生存圏研究所教授	

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAHS 小委員会の設置について

分科会等名 : IUGG 分科会 IAHS 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際水文科学協会 (International Association of Hydrological Sciences; IAHS) は、国際測地学および地球物理学連合 (International Union of Geodesy and Geophysics; IUGG) の下に設立された組織であり、学術研究・教育および国際協力を通じ水文科学の発展に寄与することを使命としている。2005年9月までは、日本学術会議地球物理学研究連絡委員会の下に設置された、陸水専門委員会が日本を代表して国内委員会の役割を担い、国内の関連学会・研究者が IAHS の活動を通じ、学術的な水文科学の振興と国際社会への貢献に寄与してきた。こうした国内委員会の活動を継承しつつ、新しい日本学術会議の理念に沿った国際対応を具体化するのが、本小委員会設置の目的である。
4	審議事項	IAHS に関する国際対応、および IAHS と連携した国際的・国内的な水文科学の振興、普及、社会貢献に関する諸事項の審議。
5	設置期間	平成 29 年 12 月 26 日～平成 32 年 9 月 30 日
6	備考	

第24期分野別委員会分科会・小委員会委員の決定

<様式>

(地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAHS 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小池 俊雄	東京大学名誉教授・水災害リスクマネジメント国際センター長	第3部会員
大手 信人	京都大学大学院情報学研究科・教授	連携会員
沖 大幹	東京大学生産技術研究所・教授	連携会員
近藤 昭彦	千葉大学環境リモートセンシング研究センター・教授	連携会員
杉田 文	千葉商科大学商経学部・教授	連携会員
寶 馨	京都大学防災研究所・教授	連携会員
谷口 真人	総合地球環境学研究所・教授	連携会員
河村 明	首都大学東京大学院都市環境科学研究科・教授	
窪田 順平	総合地球環境学研究所・教授	
鈴木 啓助	信州大学理学部・教授	
竹内 邦良	山梨大学名誉教授	
立川 康人	京都大学大学院工学研究科・教授	
知北 和久	北海道大学大学院理学研究院・教授	
辻村 真貴	筑波大学生命環境系・教授	
檜山 哲哉	名古屋大学宇宙地球環境研究所・教授	
堀田 紀文	東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授	
安原 正也	立正大学地球環境科学部・教授	
山中 勤	筑波大学生命環境系・准教授	

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAMAS 小委員会の設置について

分科会等名 : IUGG 分科会 IASMAS 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20 名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際気象学・大気科学協会 (IAMAS : International Association of Meteorology and Atmospheric Sciences) は国際測地学・地球物理学連合 (IUGG : International Union of Geodesy and Geophysics) 傘下にあつて、大気科学に関する研究促進、国際連携の調整・振興、議論の活性化と成果発出、社会啓発の促進がその主目的である。これに沿つて、IAMAS 国内対応組織である当小委員会は、国内の関連学会や研究者による世界の気象学の大気科学の振興とそれを通じた人類社会への貢献を具現化に寄与することが、その設置目的である。
4	審議事項	IAMAS に関する国際連携、関連する気象学・大気科学の振興・普及および社会貢献に関する諸事項の審議
5	設置期間	平成 29 年 12 月 26 日～平成 32 年 9 月 30 日
6	備考	

第24期分野別委員会分科会・小委員会の委員の決定

<様式>

(地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAMAS 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
中村 尚	東京大学先端科学技術研究センター 副所長・教授	第三部会員
江守 正多	独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター 研究室長	連携会員
佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科 教授	連携会員
高薮 縁	東京大学大気海洋研究所 教授	連携会員
中島 映至	宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター センター長	連携会員
浮田 甚郎	新潟大学自然科学系 教授	
鬼頭 昭雄	一般財団法人気象業務支援センター地球環境・気候研究推進室 室長	
近藤 豊	情報・システム研究機構国立極地研究所 特任教授	
塩谷 雅人	京都大学生存圏研究所 教授	
松本 淳	首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授	
三好 建正	国立研究開発法人理化学研究所計算科学研究機構 チームリーダー	

※委員候補者の並びは、「会員（第一部→第二員→第三部）→連携会員→特任連携会員」（*それ以下の順番は五十音順）

※特任連携会員は除く

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAPSO 小委員会の設置について

分科会等名 : IUGG 分科会 IAPSO 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際海洋物理科学協会 (The International Association of the Physical Sciences of the Oceans: IAPSO) は、国際測地学及び地球物理学連合 (International Union of Geodesy and Geophysics; IUGG) の傘下の組織で、国際協力を通して海洋物理科学の発展を促進することを使命としている。当小委員会は IAPSO への我が国の対応組織として、国内の関連学会・研究者が IAPSO の活動を通して世界の海洋物理科学の振興と人類社会への貢献に寄与するのが設置目的である。
4	審議事項	IAPSO に関する国際連携、海洋物理科学の振興、普及および社会貢献に関する諸事項の審議
5	設置期間	平成29年12月26日～平成32年9月30日まで
6	備考	

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAPSO 小委員会

【委員候補】

氏名	所属・職名	備考
植松 光夫	東京大学 大気海洋研究所・教授	連携会員
蒲生 俊敬	東京大学 名誉教授	連携会員
花輪 公雄	東北大学 理事	連携会員
原田 尚美	独立行政法人海洋研究開発機構 地球環境観測 研究センター・センター長代理	連携会員
山形 俊男	独立行政法人海洋研究開発機構 アプリケーシ ョンラボ・特任上席研究員、東京大学名誉教授	連携会員
秋友 和典	京都大学 大学院理学研究科・教授	
磯辺 篤彦	九州大学 応用力学研究所・教授	
大島 慶一郎	北海道大学 低温科学研究所・教授	
須賀 利雄	東北大学 大学院理学研究科・教授	
日比谷 紀之	東京大学 大学院理学系研究科・教授	
広瀬 直毅	九州大学 応用力学研究所・教授	
升本 順夫	東京大学 大学院理学系研究科・教授	
見延 庄士郎	北海道大学 大学院理学院・教授	
安田 一郎	東京大学 大気海洋研究所・教授	

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IASPEI 小委員会の設置について

分科会等名：IUGG 分科会 IASPEI 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際地震学及び地球内部物理学連盟 (International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior: IASPEI) は、国際測地学及び地球物理学連合 (International Union of Geodesy and Geophysics; IUGG) の傘下の組織で、国際協力を通して地震学及び地球内部物理学の発展を促進することを使命としている。当小委員会は IASPEI への我が国の対応組織として、国内の関連学会・研究者が IASPEI の活動を通して世界の地震学及び地球内部物理学の振興と人類社会への貢献に寄与するのが設置目的である。
4	審議事項	IASPEI に関する国際連携、地震学・地球内部物理学の振興、普及および社会貢献に関する諸事項の審議
5	設置期間	平成 29 年 12 月 26 日～平成 32 年 9 月 30 日
6	備考	

第24期分野別委員会分科会・小委員会の委員の決定

<様式>

(地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IASPEI 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
久家 慶子	京都大学大学院理学研究科 准教授	連携会員
佐竹 健治	東京大学地震研究所 教授	連携会員
平田 直	東京大学地震研究所 教授	連携会員
山岡 耕春	名古屋大学大学院環境学研究科 教授	連携会員
井出 哲	東京大学大学院理学系研究科 教授	
川瀬 博	京都大学防災研究所 教授	
熊谷 博之	名古屋大学大学院環境学研究科 教授	
末広 潔	海洋研究開発機構 上席研究員	
田中 聡	海洋研究開発機構 主任研究員	
長尾 年恭	東海大学海洋研究所 教授	
中原 恒	東北大学大学院理学研究科 准教授	
モリ・ジェーム ス・ジロウ	京都大学防災研究所 教授	
横井 俊明	国立研究開発法人建築研究所国際地震工学セ ンター センター長	
吉岡 祥一	神戸大学都市安全研究センター 教授	

(様式)

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会の設置について

分科会等名：IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員 会に○印を付け る。)	地球惑星科学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員、若しくは会員・連携会員以外の者
3	設置目的	国際火山学及び地球内部化学協会(International Association of Volcanology and Chemistry of the Earth's Interior; IAVCEI)は、国際測地学・地球物理学連合(IUGG)を構成する8つの学協会の一つであり、国際共同研究を通じて火山学及び関連科学の発展を促進することを目的としている。本小委員会は IAVCEI 国内委員会の役割を担い、国内の関連学会・研究者が IAVCEI の活動を通して世界の火山学などの研究促進と、火山災害の軽減などの社会貢献を支援してきており、日本学術会議の理念に沿った国際対応を具体化する。
4	審議事項	IAVCEI に関連する国際及び国内研究の促進と普及および社会貢献、IAVCEI 役員等の推薦などに係る諸案件
5	設置期間	平成 29 年 12 月 26 日～平成 32 年 9 月 30 日
6	備考	

第24期分野別委員会小委員会の委員の決定

<様式>

(地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
中田 節也	東京大学地震研究所, 教授	連携会員
山岡 耕春	名古屋大学大学院環境学研究科, 教授	連携会員
井口 正人	京都大学防災研究所火山活動研究センター長, 教授	
市原 美恵	東京大学地震研究所, 准教授	
上田 英樹	国立研究開発法人 防災科学技術研究所, 主任研究員	
篠原 宏志	国立研究開発法人 産業技術総合研究所, 首席研究員	
清水 洋	九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター長, 教授	
中川 光弘	北海道大学大学院理学研究院, 教授	
西村 太志	東北大学大学院理学研究科, 教授	
森田 裕一	東京大学地震研究所, 教授	